

5	2017	12	5~6	屋内作業場よりハイド板付タイヤショベルを外に出す際、シャッター内側（強風破損防止）の縦に挿し込んでいた木材タルキを取り外す為ハイド板の上に登り取り外そうとしたが抜けなかったのでハンマーで叩いた拍子に滑ってコンクリート土間に落ち腰と肩を強打した。	61	1	10901	10 ～ 29
6	2017	12	10~11	敷地内で、堆肥舎（旧）を車庫に改造するのに、壁に鉄板を張り付けるため、ビスを打ち込む作業を行っていた。作業は、ショベルローダー（CAT938）のバケットに現場作業員2人を乗せ、バケットを2~3mの高さに上げて行っていた。壁側は緩やかな傾斜（壁側が高い方）となっていた。バケットに乗っている作業員の1人が運転手にバケットを上上げてほしい旨の合図を送ったところ、運転手はバケットが壁に近かったため一度後ろに下がりバケットを上げて前に出ようとした。しかし、後ろに下がる際に被災者がバケットから転落し、そのことに気付かなかった運転手がローダーを前進させる際に被災者を前方左タイヤで轢いてしまったものである。	64	1	170209	50 ～ 99
7	2017	12	9~10	タイヤショベルで除雪を終えた後、降車しようとしステップを踏み外し床に肩を打ちつけた。	63	1	60101	1～ 9
8	2017	11	8~9	置き場において、BH0.4の始業点検時にドアの開閉をしている際、開閉の弾みにより左手指を挟んだ。	62	7	30108	1～ 9
9	2017	11	14～ 15	道路改良工事の作業所内で歩道アスファルト舗装の撤去作業時に当社作業員の被災者は、当日撤去したアスファルトくず集積の折、当社重機オペレーターが操作するバックホー（0.13?）のバケットにて背中を押され負傷した。作業時オペレーターの周囲の確認と、重機作業範囲内立入禁止の周知徹底不足にて事故を招いた。	16	6	30106	10 ～ 29
10	2017	11	13～	資材置場において、同社所有のブルドーザーが後方に動き出し、後方にいた被災者がこのブルドーザーと、駐車してあった	56	7	30106	10 ～

			14	4tユニックトラックに挟まれ死亡していた。				29
11	2017	10	11～ 12	墓石の解体中に出たコンクリートガラを二本の足場を引いた階段を重機を使い運んでいたところ、コンクリートガラが崩れ重機がバランスを崩し、階段下へ重機が落ちる寸前に、巻き込まれないように飛び降りた。この際に右肩から落ち負傷した。	56	3	30199	1～ 9
12	2017	10	9～ 10	指定残土捨て場において残土整地作業中、バックホーに乗り込む際足を滑らせ落下した衝撃で左足を負傷した。	37	1	40301	1～ 9
13	2017	10	14～ 15	本社工場の建屋内で、ばらけている産廃をひとりが板を用いて人力でまとめ、それをもうひとりがホイルローダーで別場所へ移動させる。これを交互に行う作業中に発生。被災労働者が人力で産廃をまとめる作業タイミングと、ホイルローダー搭乗者が産廃を移動させるタイミングが重なった。被災労働者は産廃だけに意識がいき視野が狭くなりホイルローダーの接近に気づけなかった。ホイルローダー搭乗者はバケット（ショベル）で被災労働者の姿がちょうど隠れていた。そのため運転席からは、被災労働者が見えなかった。そして、ホイルローダーバケット先端部が被災労働者の右腕に接触した。	34	6	150102	30 ～ 49
14	2017	10	16～ 17	土場内にて、おが粉の片付けをしている時に土場内にて同じくトラックから降ろしたおが粉の片付けをしていた大型重機（タイヤローダー）が一時的に停止した後、再び前進しようとしたところ、重機の前（重機の運転者からは完全な死角位置）にいた事から接触し、倒れた瞬間にコンクリート地面に後頭部を打ち付けたもの。但し、以上の記述については確たる目撃者がいないこと、また、本人以外に詳細な状況説明ができない事からあくまで推定状況として記述するものである。	67	6	80209	10 ～ 29
				本社倉庫内で積車に古いタイヤと新タイヤの積み換え作業中、タイヤショベルのバケットにパレットをのせての作業中、1人				

15	2017	10	11～ 12	は積車中の作業、1人はタイヤショベルにエンジンをかけ、前進レバー入れ前進した時、クラッチペダルを滑らせ、はずみで積車の中の作業員にぶつかってしまった。左足に当たり骨折した。	51	6	40301	1～ 9
16	2017	9	17～ 18	2番船倉内でブルドーザーによる尿素的掻き出し作業を行っていた時、突然ブルドーザーのクラッチオイルが噴いて被災者にかかり火傷をした。	68	11	50202	50 ～ 99
17	2017	9	13～ 14	同僚に連絡事項を伝えるため、ショベルローダーの運転台にあがろうとして、いそぎ足でタラップの手摺りを右手でつかみ、1段目に右足を掛け次に2段目に左足を掛けようとした時、誤って左膝関節部が2段目のタラップの角に当たり、左膝関節部を打撲捻挫した。	62	3	40301	50 ～ 99
18	2017	9	8～9	現場で車庫土間コンクリート打設作業中、擁壁の上から重機で生コンを掬っては入れる作業を繰り返していた時、生コンを入れ終わりオペレーターが重機を旋回しようとしてる所に、今までしゃがんで作業をしていた本人が急に立ち上がり、それにびっくりしてオペレーターが重機のレバーに肘がつかえ、バケットが左右に振れ本人に当たり擁壁とバケットに挟まれたものである。	58	7	30201	1～ 9
19	2017	9	11～ 12	資材置場にて片付け作業中に、重機0.1Rバックホーから降りようとした際に肩から1m程落下、その衝撃で脱臼した。	34	1	30209	1～ 9
20	2017	9	18～ 19	都内駐車場アスファルト撤去工事から当社に戻り、現場で使用したパワーショベルのバケットを、盛り土（50cm程度：バケットの収納場所）の上に被害者（下請会社社員）が外し終え、地面にとび降りたところ、転倒してしまい、かつ地面に背面を強打したうえ、同時に収納場所へ移動を開始した当該重機（外注社員操縦）のキャタピラに轢かれ右腕等を受傷したものである。	45	7	30309	1～ 9

21	2017	9	14~ 15	営業所の洗車場で午後にブルドーザーの洗車をしているときに足を滑らせて、排土板に右足のヒザをぶつけ、ヒザの皿にヒビが入った。	73	6	80409	1~ 9
22	2017	8	8~9	プラントのコンクリート工場にて、竹ぼうきで掃除中、後ろから小型ユンボのバケットが背中に当たった。	58	6	20201	10 ~ 29
23	2017	8	10~ 11	納入予定の建設機械の運搬作業中に、建設機械を中型トラックに積み込む際に横滑りし、重機が転倒しそうになり、被災者が転落し、地面に転倒して足を負傷した。	46	1	30199	1~ 9
24	2017	8	16~ 17	プラント構内で、構内の重機が後退してきて、自社の大型ダンプの後方に衝突した。その際の衝撃により、むち打ち・打撲となり痛みが出た。	46	6	40301	10 ~ 29
25	2017	7	13~14	土場で石炭積込作業中に石炭の中の異物をふるいにかける機械に接触して重機の手すりが曲がり、それを直すために外へ出た所、運転席より2mくらい下に落下したがそのまま仕事を続けていた。後程、土場に来た人に病院に行くよう言われた。	56	1	50209	10 ~ 29
26	2017	7	17~18	当社のリサイクル事業場において、タイヤショベルのエッジを反転するため、ボルト取り外し作業中、ボルトが折れ、重さ10kgのエッジが高さ約50cmより右足甲に落下し負傷したものである。	63	4	150102	10 ~ 29
27	2017	6	12~ 13	採石場で昼の休憩時、パワーショベル（CAT3458）の操縦室に置いていた弁当を取りに行き、車体のキャタピラ（高さ110cm）に上がり操縦室に入ろうとしたところ、誤って背中から転落した。意識はあったが歩行困難な状態だったので、対岸まで運び救急車で病院に搬送した。	69	1	20201	1~ 9
28	2017	6	13~ 14	碎石工場で、積み込み用重機（ホイールローダー）から降車する際、着地時に足を挫き骨折した。	63	1	20201	50 ~ 99

29	2017	6	7~8	<p>自社給油スタンドでの給油後、給油カードを事務所に返却するために助手がモーターグレーダーより降りて事務所に返却しに行っている間に、被災者が所用の為にキャビンより降りた際に足を滑らせて転落し、失神しているのを助手が発見したものである。</p>	33	1	30199	30 ~ 49
30	2017	5	11~12	<p>当社堆肥舎で、ボブキャットに乗りバケットを操作しながら堆肥を混ぜる作業をしている時に、突然ボブキャットが前に傾いたため、ボブキャットから降りようと右足を出したところ、傾いていたボブキャットが元の状態に戻ったと思っただが、バケットが下降してきて、降りようと出していた右足の膝下を、ボブキャット本体とバケットとの間に挟んでしまった。</p>	19	7	70101	1~ 9
31	2017	5	9~10	<p>生コン工場敷地内で、大型コンクリートミキサー車のミキサードラム内に付着したコンクリートを除去する際、ミキサー車の横につけたホイールローダーのバケツに乗ってミキサー内に工具を入れようとした時、ホイールローダーのバケツと腕部の隙間に左手を挟んで負傷した。ホイールローダーのバケツを固定するストッパー部分が摩耗して遊びができていた。</p>	52	7	10901	10 ~ 29
32	2017	5	10~11	<p>本人の家の古い墓地が小高い山の上であり、お墓の撤去をするために、運搬車（トップカー）を通す必要があり、道幅が狭いため道をひろげるのに、自宅より本人所有の古いバックホーを使用した。山側を少し削る予定だったが道幅が50cm位しかなく、急坂な事と、路面の凹凸もひどく谷側の地面もずいぶんもろいため作業開始からしばらくして、バックホーごと縦に転がったが、本人は投げ出され、下敷きにならずに済んだ。</p>	64	2	30106	1~ 9
33	2017	5	14~15	<p>バックホウ（0.15?）を使用し、駐車場の碎石敷き作業を行っていたとき、作業員はバックホウの後方で敷き均しを行っていたところ、オペレーターは作業員に気付かずにバックしたため、作業員の右足を轢いた。</p>	22	7	30109	1~ 9

34	2017	5	16～ 17	農道拡張工事による残土整地中、農道中央にあるバックホーの横を右側よりすり抜けようとしたところ突然バックホーが前進し、左足をキャタピラに轢かれる。	73	7	30199	10 ～ 29
35	2017	5	8～9	林道の崩土集積及び搬出する際、タイヤショベルにて崩土を集積作業中、一旦集積後、タイヤショベルをバックするときに後方確認を十分しないままバックした為、路肩より重機と共に約2m下に転落した。	52	1	30309	1～ 9
36	2017	5	16～ 17	資材置場にて壊したコンクリート片を潰して一定量溜めてトラックに積む作業をしている時に、積み込み機械の旋回範囲内に作業員が入りコンクリート片に支柱が付いたものがバケットからはみ出していて、作業員の服に引っ掛かり、転倒したところにあったU型のコンクリートにぶつかり、腕を負傷した。	58	2	30199	1～ 9
37	2017	4	14～ 15	圃場でキャベツの収穫作業中、コンテナにキャベツを入れ終わり、タイヤショベルカーの運転手がショベルカーの右側にいた被災者に気づかず発進し、右タイヤで被災者の左足をひいてしまい、左足指全部の筋がつぶれた。	28	7	60101	10 ～ 29
38	2017	4	14～ 15	道路の道路表面に敷き込んでいた原石ズリ（敷き込み厚さ4m）を回収する業務中、法肩に履帯が平行になるように停車し、ダンプトラック（CAT777）への積み込み作業を開始し、2台目のダンプトラック（CAT777）に積み込みを行うため旋回をしている途中で、バックホーが停止していた法肩が崩れ、約9m下のベンチに転落・横転した。	44	1	20201	30 ～ 49
39	2017	4	11～ 12	仮締切内1段支保工下の二次掘削箇所で、仮締切鋼矢板に付着した土ベラ落としをしているときに、地上から掘削中の0.7?ロングアームバックホウのバケットと仮締切鋼矢板の間に入ってしまい、被災者の右足がバックホウのバケットと仮締切鋼矢板の間に挟まれ被災した。	25	7	30107	30 ～ 49

40	2017	3	9~10	造成工事現場から次の現場へ2トンダンプで発電機を取りに行き、現場の置場でバックホー（移動式クレーン）でダンプの荷台に発電機を降ろし、発電機の玉掛けをはずす際に前かがみになったところ、オペレーターの視野に被災者が旋回した為、バックホーの法面バケットを右肩と左太腿に当てて被災した。	46	6	30109	1~9
41	2017	3	11~12	車両系建設機械油圧ショベル（重機）のクーラント液（冷却液）を補充する際、ラジエターが冷える前にフタを開けてしまい、沸騰した液が飛び出し、手の甲にふれて火傷を負った。	50	11	150102	10~29
42	2017	3	16~17	構内で作業中、バケットから下りようとしたとき、手元が滑り右足から滑り落ち、右足を捻った。	31	1	150102	100~299
43	2017	3	16~17	製油の除染作業中、山砂の敷き均し作業時に、山砂の配置をするため不整地運搬車を使用した際、梨の木の間を通り抜けようとしたところ、枝が邪魔になり体を左に大きく傾け通過しようとしたところ、バックで後ろ向きでの操作だったため、梨の木の幹の部分に気づかずバックしたところ、幹と不整地運搬車の手すり部分に顔面がはさまれた。	45	3	30309	50~99
44	2017	2	11~12	構内駐機ヤード内にてSK1000DセパレートATT油圧ホースへ飛散防止ガード装着作業2名にて実施中、機械本体から下りる際にクローラーフレームのステップを利用して降りたが、足を踏み外してそのまま落下し腰を強打し救急車にて搬送された。	32	1	11702	10~29
45	2017	2	10~11	造成工事の後片付けの為、鉄板をトラックに積込作業していた。クレーン式バックホウで吊り上げたところバランスを失い、バックホウのアームに手を強打した。結果、右手小指付根を骨折した。	49	3	30199	—
				水路工事現場で、トラックの荷台にユンボで鋼材を積み込む作業をしていて、ユンボのバケットに吊すため鋼材に引っ掛けてあるクランプを外そうと、鋼材の上に乗って移動したところ、				1~

46	2017	2	13~14	バケツに頭部をぶつけ、ずれたヘルメツで鼻頭を打ち、首に衝撃を受けた。後ろにのけ反って倒れそうになったので、倒れないように体を支えようとして、足首を捻った。	53	3	40301	9
47	2017	2	10~11	油圧ショベルカーのファンベルト調整中、機械装置の上（高さ60cm位）に乗り力を入れてベルトを張った際空振りして転倒し、左手首を負傷した。	60	1	170101	1~9
48	2017	2	14~15	災害復旧の為の護岸修復作業中、水の流れを一時的に切り替える為の樋と樋を接続する為の特製ビニールシートを設置しようとして水の流れが強かったため、作業に手間取りユンボで樋を押し作業の人間とタイミングが合わず、手を放す前に樋が押されたため、樋と樋の間に指を挟み負傷した。	62	7	30107	1~9
49	2017	2	3~4	構内道路をホイールローダーで除雪している際、バケツが道路を横断しているグレーチングに引っ掛かり急停止し身体が前に投げ出され、フロントガラスに頭部をぶつけた。	63	3	11403	300~499
50	2017	1	9~10	解体工事現場で解体作業中、トラックの後ろの扉を閉めようとしたところ、重機がバックをして来てキャタピラーに右足を轆かれた。	36	6	30209	1~9
51	2017	1	18~19	客先の除雪用重機（ホイールローダー）に軽油を給油するため出向いた。複数の重機が隙間なく停車してあったので、移動のために重機のバケツ上を歩いたとき、バケツ上で滑って、とっさに地面に下りたら、右足の足首から下をひねるような形となり負傷した。	64	3	80204	1~9
52	2017	1	16~17	除雪機格納庫でトラクターショベル後方上部のミラー交換後、降りる時に足を滑らせ約1.5mの地上に落下した。	43	1	80409	1~9
53	2017	1	9~10	外構工事施工中、駐車場の整地を小型重機で作業している所、重機の送行に支障がある道具をどけようとした際、重機がバックして来て、右足甲を踏まれ倒れた際、右足首を骨折した。	44	6	60101	—

				(当日のみ応援で現場に行ったものである。)				
54	2017	1	16～ 17	整備工場バックホウを整備中降りる際に、右足をついたときに膝裏に痛みがはしり、バランスをくずし転倒してしまった。	67	19	11701	10 ～ 29
55	2017	1	14～ 15	ブロック撤去現場にてトラックに積み込むために重機のバケットにコンクリガラを積み重機を旋回しようとしたところ、積んであったコンクリガラが落下し、左足に当たってしまった。	41	4	150102	10 ～ 29
56	2017	1	13～ 14	既設コンクリート擁壁をエンジンカッターにて切断し、BHにて撤去作業中、擁壁をBHにて引いたが倒れなかったため、被災者に合図をせず擁壁が動くかどうか確認するため、BHにて押したところ、転倒し被災者の左足膝下に擁壁が倒れた。	61	5	30106	—
57	2017	1	9～ 10	鉄板を仮置きするため、4tダンプの荷台から道路脇の法面に移動した。鉄板の一面が地面に設置した際にフックから鉄板が外れ鉄板と4tダンプの間に挟まれた。	51	5	30110	1～ 9
58	2017	1	16～ 17	工場バックホーでバケットの移動している時、バケットと地面の間に左足が挟まり、左足親指骨折および左足擦傷を負った。	62	7	11702	1～ 9
59	2016	12	15～ 16	災害復旧工事で、バックホーを使用し、大型土のうを河川敷へ積み上げる作業中、被災者は、大型土のうの上に乗し、2段目の大型土のうの吊ひもをバックホーのフックに掛けた瞬間、運転手が大型土のうを吊り上げて振り子状態となった。被災者は大型土のうに突き飛ばされバランスを崩し、河原へ仰向けに落下し、背中、腰、肩を強打負傷した。	68	1	30107	10 ～ 29
60	2016	12	8～9	宅地造成現場内において、足場板を持って運搬していたところ、後進してきたバックホウのキャタピラに接触。左足くるぶしを負傷した。	58	7	30109	30 ～ 49
			15～	車両誘導時に、重機の運転手が後方を確認せずに後進したた				50

61	2016	12	16	め、その重機に接触し、倒れ込んだ。その際、重機のキャタピラに左足を踏まれた。	72	6	170201	～ 99
62	2016	12	16～ 17	県道にて水道工事作業の交通誘導中に、道路舗装用のローラーに、誤って右足を踏まれる。	66	7	170201	～ 49
63	2016	12	14～ 15	歩道除雪のため、ミニショベルローダで除雪作業を行っていたところ、歩道上にあった水道のバルブがミニショベルローダのバケット先端下部にひっかかり、体が前に投げ出されたことにより、頸椎等を負傷した。	60	19	40202	10 ～ 29
64	2016	11	9～ 10	砂浜に設置していた鉄板を撤去するためにホイールローダーにワイヤーを掛け鉄板を2t車荷台に載せる作業で、鉄板を掛けていたワイヤーが外れ、鉄板が被災者の右足の上に落ち親指付根を負傷した。	26	4	30199	1～ 9
65	2016	11	8～9	リサイクル工場敷地内にてホイールローダーの使用前点検を行い、重機運転席より降車しようとしたところ、ステップを踏み外し地面にお尻から落下。その際、左肘を地面に打ち付け負傷した。	55	1	10909	1～ 9
66	2016	11	8～9	新設原水柵設置箇所、既設側溝が支障となる為、バックホウで持ち上げて、被災者がワイヤーをまわそうとした矢先、持ち上げた側溝がバケットからはずれ側溝が落下した際、その反動でバケットのツメが被災者の左腕に直撃した。	45	6	30199	1～ 9
67	2016	11	18～ 19	敷地内で残土の仕分け作業中に作業台上にいたところ、重機が接触してしまい、バランスを崩し転落した。	48	6	150102	10 ～ 29
68	2016	11	11～ 12	のり面の立ち木を伐採する作業を行っていた。のり面の上から重機で木を引っ張り、倒す際に、途中で立ち木が折れて倒れてしまった。倒れる方向がわからず、誤って逃げた方向に木が倒れ、右足首を挟まれてしまい負傷した。	21	6	60209	10 ～ 29

69	2016	11	10～ 11	ヤード場内で、荷の横持ち運搬作業中に、停車していた深ダンプに荷を持ったショベルが正面から衝突した。衝突により、右足が挟まれ、裂傷を負った。	63	6	40301	50 ～ 99
70	2016	11	7～8	除雪作業中に除雪車がバックしてきているのを気づくのが遅れ、飛び出してしまった為除雪車に右足を踏まれた。	63	6	30309	10 ～ 29
71	2016	11	2～3	除雪作業中に、マンホールが突出していた事に気づかず、バケツのエッジがマンホールに引っ掛かり手を被災した。	60	3	30309	50 ～ 99
72	2016	11	11～ 12	駐車場にて、ダンプの荷台にてモルタルを練る作業をしていた。練り終わったモルタルをミニタイヤショベルで運搬させるため、ダンプの荷台にミニタイヤショベルのバケツを接地させ、エンジンを切りモルタルを積み込んでいたところ、別の作業員が誤ってミニタイヤショベルのショベルレバーを下方方向に操作してしまい、バケツが下に動いてダンプの荷台に足が挟まり負傷した。	48	6	30199	1～ 9
73	2016	10	14～ 15	バックホウを運転してスロープを下っていた際、スロープの途中で一旦停止し、エンジンをかけたまま下りようとしたところ、何かが操作レバーに引っかかったために、バックホウから転落し、バックホウのキャタピラーに右足を踏まれ負傷した。	29	7	30199	10 ～ 29
74	2016	10	11～ 12	作業場でタイヤショベルの右側ウィンカーを修理する為、本来昇降用の脚立を使用することになっているが、脚立を使用せず幅45cm高さ130cmのタイヤの上にあがって作業をし、修理が終わったので地面に降りようと左足を下に伸ばしたところ、左足がタイヤの凹凸に引っかかり上体左前から落ちた。	52	1	80409	30 ～ 49
75	2016	9	12～ 13	水道管移設改良工事現場において、昼食時間になったので、作業を終えて移動しようとしたとき、止めてあった重機のバケツ	67	3	30110	1～ 9

				トに頭があたり負傷した。				
76	2016	9	8～9	作業員トイレ改修工事現場において、重機の始業前点検中に操縦者の左肘が旋回レバーに触れ、重機の左側方で鉄筋の切断作業中の被災者の頭部がバケットと壁とに挟まれ被災した。	47	7	30209	1～ 9
77	2016	9	14～ 15	ヤード内において、10t車に商材を他の現場作業員が重機を使用して、積込をしていたので、被災者が確認の為、近くに様子を見に行った。その際、商材を重機で前に押した時、重機のキャタピラが持ち上がり、重機が右側に滑り、重機の右側にいた被災者の足が重機の排土板に挟まり、左足親指を骨折した。	42	6	170209	1～ 9
78	2016	9	8～9	構内にて、ショベルローダーの作業前点検を行っていたところ、バケットの上部で誤って足元を滑らせてしまい、1.5m下に転落した際、左半身を強打し負傷した。	49	1	150102	10 ～ 29
79	2016	9	15～ 16	給水管本付替えの際、重機作業においてオペレーターが誘導員の誘導なしにバックホウを後退した際、バックホウの後ろを移動中の被災者と接触し、負傷した。	69	6	30110	10 ～ 29
80	2016	9	14～ 15	農場においてトラクターを使用し畑の耕運作業をしていた際、作業の出来を確認する為、一旦トラクターから降りようとしたところ、誤って足を踏み外し、腰をトラクターの踏み台に強く打ち付け負傷した。	28	19	60101	10 ～ 29
81	2016	9	9～ 10	バイオマス発電所設置工事の現場にて、配管架台用基礎を改修する為に油圧ショベルを用いて掘削作業している最中に、「オペレーターの周囲確認不足・作業区画不足・監視員未配置」という状況重なった結果、油圧ショベル旋回範囲内で現地確認していた被災者が、油圧ショベル旋回時に接触した。	49	6	150102	10 ～ 29
82	2016	9	12～ 13	顧客より重機のエンジンが高温になった際、本体より煙が発生するとの事で原因調査依頼があり、稼働現場にて点検を実施した。エンジンとポンプの接続付近より湯気のようなものが発生しているのを確認した。エンジン後部フライホイールケース下	27	11	80409	10 ～

				のドレンプラグを外した際、高温のエンジンオイルが吹き出し、顔面、両上肢を負傷した。				29
83	2016	8	8～9	ロードスタビライザーの始業前点検を終えて、周囲の安全確認の為、運転席から降りようとした際に本来の昇降設備を用いずに、左側のキャタピラーの上から直接地面に降りようとしたところ、足を滑らせバランスを崩し背中から落下した。	58	1	30199	50 ～ 99
84	2016	8	14～ 15	工事現場で廃材の撤去作業中に、ユンボで4t車にのせようとしたところ、頭の前頭部に当たってしまった。	51	6	30201	1～ 9
85	2016	8	8～9	工事用道路の工事で、3名で大型土のうをバックホウを使用し、移動する作業を行っていた。被災者は、大型土のうからワイヤーの先の吊金具を外す作業を行っていた。何個か移動しているうちに被災者とバックホウのオペレーターとの合図が曖昧になり、確認不足によりバックホウのオペレーターがワイヤーを上げてしまい、被災者の左小指が吊金具と大型土のうの帯に挟まり、小指の先を負傷した。	38	7	30105	1～ 9
86	2016	8	11～ 12	配水池配管工事現場内において、掘削した残土をトラックに積み込むため、盛立した残土を利用してミニバックホウを下方へ移動させる際、残土が軟らかく、更に傾斜がやや急であったため、バックホウのキャタピラ前部が残土に沈み、前のめりになり前転した。その際、アームが右側に旋回したため、運転席が地面に接するように転倒し、ヘッドガード端を握っていた左手が地面との間に挟まれ負傷した。	68	2	30110	1～ 9
87	2016	8	20～ 21	水道工事で仮配管を撤去する作業をバックホウ2台で行っていた。被災者は先行して舗装を撤去するバックホウAの前方で舗装ガラを拾い集めていた。仮配管撤去作業のバックホウBのオペレーターはバックする為、後方確認したが被災者がバックホウのすぐ近くで姿勢を低くして作業していた為、死角に入って	67	7	30110	10 ～ 29

95	2016	7	15~ 16	市道通行止め車道部にて、4tダンプ後退待機中、掘削用の幅広バケットに細型バケットを積み不安定な状態の中、4tダンプ後退に対応しようと、ブームを手前に引いた際、積み込んだ細型バケットがバランスを崩し落下。とっさに出した右腕が落下したバケットとフロントガラスに挟まれた。	61	7	30199	1~ 9
96	2016	7	17~ 18	牧草収穫作業に従事中、乗車していたタイヤショベルから車外に降りる際に、雨で昇降ハシゴが濡れていて足を滑らせ落ちて、右大腿骨部分を負傷した。	78	1	60101	1~ 9
97	2016	6	9~ 10	構内のため池脇幅約4mの通路をタイヤショベルに乗って砂利運搬途中、路肩が崩れ、深さ約3mのため池に車輛ごと転落した。	31	1	10909	1~ 9
98	2016	6	15~ 16	牧場内、山間部牧草地にて、傾斜地をブルドーザーにて踏み固め作業中、角度が急な場所に進入した際に操作を誤り重機ごと滑落し、頭部に裂傷を負った。	62	1	30199	1~ 9
99	2016	6	11~ 12	4tダンプの荷台が破損したため、事務所敷地内で、3人で整備中、ダンプの荷台の取付中ピンがあわなかったため、バックホーでつり上げた所、ダンプが後ろに下がってきて、左足がタイヤに巻き込まれてしまった。	66	7	30199	10 ~ 29
100	2016	5	18~ 19	農場内でスキッドステアローダのバケットを点検する為のバケットを外そうとした瞬間手が滑り、バケットが落下、右足の爪先に落下負傷する。	59	4	70101	1~ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。